

竹原市遺族連合会

竹原市遺族連合会のあゆみ

昭和三十三年十一月三日竹原市制施行前近隣の各町村の遺族は県の呼びかけにより昭和二十四年頃より戦没者に対する慰霊の顕彰と平和日本の建設遺族会員の福祉向上の為遺族会を逐次結成した。

昭和二十六年四月第一回目の遺族会主催による慰霊祭を行う、その後毎年忠魂碑において招魂祭を行うことに決定した。地域に於ては奉賛会の結成が出来以来毎年招魂祭を実施していただき遺族はこれに参拝することになった。

昭和三十三年十一月三日竹原市制施行により竹原市遺族連合会結成に向けて度々協議会を開き昭和三十五年六月竹原市遺族連合会を結成し初代会長に前忠海町長の恩田以忠氏を会長に選任する。

昭和三十九年七月青壮年部が結成され青壮年部長に岡本孝磨氏を初代部長に選任する。

昭和三十九年九月婦人部が結成され初代婦人部長に竹鶴初子氏を選任する。昭和四十七年一月恩田会長死亡の爲辞任。昭和四十七年三月第二代会長に沖谷積氏を選任



する。昭和四十八年十月竹鶴婦人部長辞任、後任に森川文子氏を婦人部長に選任する。平成三年十月岡本青壮年部長辞任、後任に西部要氏を青壮年部長に選任する。平成三年十二月沖谷会長辞任、第三代会長に保田芳雄氏を選任する。

私達会員は常に一致団結して、戦没者に対する慰霊の顕彰を永遠に灯を消すことなく追悼し靖国神社国家護持、総理大臣の公式参拝の実現を図ることは私達の遺族の悲願であり平和日本の建設会員の福祉の向上のため一層の努力を払わなければならない。

主な役員 (平成五年九月現在)

竹原市遺族連合会	会 長	保田 芳雄	副 会 長	小松 鈴子	
忠海遺族会	会 長	欠員	婦人部長	森川 文子	
大乗遺族会	会 長	峠木 繁	事務局長	山口 武司	
吉名遺族会	会 長	益吉 敏三	青壮年部長	西部 要	
東野遺族会	会 長	吉村 頼之	竹原遺族会	会 長	小松 鈴子
莊野遺族会	会 長	保田 芳雄	忠海遺族会	会 長	欠員
田万里遺族会	会 長	田坂 義臣	大乗遺族会	会 長	峠木 繁
仁賀遺族会	会 長	堀岡 早登	吉名遺族会	会 長	益吉 敏三
			東野遺族会	会 長	吉村 頼之
			莊野遺族会	会 長	保田 芳雄
			田万里遺族会	会 長	田坂 義臣
			仁賀遺族会	会 長	堀岡 早登
				婦人部長	森川 文子
				婦人部長	岩岡 静子
				婦人部長	森川 文子
				婦人部長	弓場イセヨ
				婦人部長	岩本セツヨ
				婦人部長	森田ミチエ
				婦人部長	乗越 好恵
				婦人部長	福田アヤノ
				婦人部長	小島 千鶴

竹原市遺族連合会

年月日 氏名

事項

昭和35年6月 会長 恩田以忠就任 竹原市遺族連合会結成

昭和39年7月 青壮年部長 岡元孝磨 青壮年部結成就任

昭和39年9月 婦人部長 竹鶴初子 婦人部結成就任

昭和47年1月 恩田会長就任

昭和47年3月 会長 沖谷 積就任

昭和48年10月 竹鶴婦人部長就任

婦人部長 藤川文子就任

昭和55年1月 岡元青壮年部長就任

岡田道夫就任

昭和57年1月 岡田青壮年部長就任

平成3年 青壮年部長 西部 要就任

平成3年12月 沖谷会長就任

平成4年6月 会長 保田芳雄就任

竹原市遺族連合会吉名町遺族会

年月日 氏名

事項

昭和23年7月 会長 手良向磯平就任

副会長 西村熊吉就任

吉名村遺族会を結成

昭和28年4月 手良向会長就任

会長 沖谷 積就任

副会長 手良向関松就任

昭和29年10月 婦人部長 重田タツ子

副婦人部長 脇森アヤコ就任

昭和31年9月 豊田郡竹原町と合併

昭和33年11月 市制施行 竹原市遺族連合会結成

昭和35年6月 竹原市吉名町遺族会とな

る

青年部結成就任

昭和36年7月 青年部長 保手浜助信

副青年部長 重田 稔就任

昭和38年6月 重田婦人部長就任

婦人部長 脇森アヤ子就任

副婦人部長 坂本サダ子就任

昭和38年6月 重田副青年部長就任

副青年部長 保手浜タマ子就任

昭和40年10月 保手浜青年部長就任

重田副青年部長就任

青年部長 浜咲清治就任

副青年部長 脇森美穂子就任

昭和42年10月 脇森婦人部長就任

坂本列婦人部長就任

昭和60年3月 婦人部長 有原美枝就任

手良向副会長就任

竹原市遺族連合会 野遺族会

有森婦人部長辞任

昭和35年6月

竹原市遺族連合会結成竹

婦人部長 岩本セツヨ就任

昭和34年1月

原市野遺族会となる

平成4年1月 沖谷会長辞任

奉賛会結成招魂祭を毎年

実施する

会長 益吉敏三就任

昭和37年10月

市連合会は青壮年部を結

副会長 山田作郎就任

青壮年部長 内山須治

副青壮年部長 小坂健治

成選任す

野遺族会も選任する

昭和45年4月

九段会館へ出資金として

会長 盛谷喜一就任

松家婦人部長辞任

婦人部長 児玉ナツヨ就任

一戸百円納付

副会長 森重吉夫就任

昭和47年8月

日浦会長辞任

副婦人部長 中山清美就任

年月日

氏名

事項

昭

遺族会主催による慰霊祭

を毎年行ふことを決定

昭和25年

副会長 森重吉夫就任

入 廣島県遺族厚生連盟に加

昭

会長 竹下 巖就任

増築資金一人当り三千元

昭和26年4月

遺族会主催による慰霊祭

を毎年行ふことを決定

昭

婦人部長 中山清美就任

納付

昭和29年1月

盛谷会長辞任

忠魂碑清掃を年三回毎年

昭

竹下会長辞任

昭和56年広島県遺族会館

昭和30年3月

会長 藤重吉夫就任

実施 賀茂郡竹原町と合併野

昭

中山婦人部長辞任

婦人部長 乗越好恵就任

昭和32年5月

森重会長辞任

遺族会となる

平成元年4月

婦人部長 乗越好恵就任

昭和33年11月

会長 日浦俊松就任

副会長 城本政一就任

昭

婦人部長 松家久子

副婦人部長 児玉ナツヨ就任

昭和33年11月

副婦人部長 児玉ナツヨ就任

婦人部結成就任

昭

昭

昭

昭和33年11月

昭

昭

昭

昭

昭

昭和33年11月

昭

昭

昭

昭

昭

昭和33年11月

昭

昭

昭

昭

昭

昭和33年11月

昭

昭

昭

昭

昭

昭和33年11月

昭

昭

昭

昭

昭

昭和33年11月

昭

昭

昭

昭

昭

昭和33年11月

昭

昭

昭

昭

昭